

令和5年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

教育行政学

(250点満点)

問題1 教員免許更新制の廃止に関する次の新聞記事を読み、制度廃止後の文部科学省の政策案について自由に論評しなさい。

(出典 2022年5月12日「朝日新聞」朝刊23面「教員免許更新制、7月廃止」)

問題2 憲法における教育関係条項と教育基本法の法的特徴および同法における教育目的・教育目標について説明し、いくつかの論点を取り上げて論じなさい。

問題3 日本の教育制度・行政に関わる以下の4つの用語のうち、2つを選んでその意味や仕組み、課題・論点などについて説明しなさい。(選択した問題番号を明記のこと)

1. 学校設置者 (義務教育段階)

2. 特別支援教育

3. へき地教育振興法

4. スクールカウンセラー

令和5（2023）年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

学校経営論

（250点満点）

- 問題1 教員免許更新制の廃止に関する次の新聞記事を読み、制度廃止後の文部科学省の政策案について自由に論評しなさい。

（出典 2022年5月12日「朝日新聞」朝刊23面「教員免許更新制、7月廃止」）

問題2 学校経営論に関わる次の語句の中から二つ選び、詳しく説明しなさい。回答欄には選択した語句の番号を明記すること。

1. 子どもの意見表明権
2. Professional Learning Community (PLC)
3. 教員の働き方改革
4. 心理的安全性

問題3 新自由主義教育改革の特徴について、以下のキーワードを用いて説明すると共に、その課題を述べなさい。またそれに代わる望ましい教育改革、そして学校改革の方向性について論じなさい。

アカウンタビリティ      主人・代理人 (Principal-Agency) 理論

令和5年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

教師教育制度論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 教員免許更新制の廃止に関する次の新聞記事を読み、制度廃止後の文部科学省の政策案について自由に論評しなさい。

(出典 2022年5月12日「朝日新聞」朝刊23面「教員免許更新制、7月廃止」)

問題2 次の7つの項目から4つを選んで簡潔に説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。

1. 森有礼
2. 戦後日本における教員養成の2大原則
3. 日本の教職課程認定制度
4. 教職課程コアカリキュラム
5. 教員文化
6. 「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」第三条の規定によって生じている課題
7. 教師のバーンアウト

問題 3 次の文章を読み、以下の問題のすべてに答えなさい。

(出典 今津孝次郎 (2017) 『変動社会の教師教育』名古屋大学出版会、pp240-241)

1. (1) デューイが提唱した「反省的思考 reflective thinking」とは何か、説明しなさい。(2) ショーンは「反省的思考」概念を踏まえて、さらに「行為のなかの省察 reflection in action」という概念を提起した。本文における省察と直観はいかなる関係性を持つかを説明しなさい。
2. 教員養成段階においてはいかに「省察的实践者」としての教師の基礎的な力量を育成するかを論じなさい。
3. あなたは学校教員として働くなら、「省察的实践者」としての教師になるために具体的になにに対して注意を払い、どのような教育実践を行いたいかを論じなさい。



令和5年度 大学院教育学院修士課程第二次入学試験問題

青年期教育論

(250 点満点)

以下のすべての問題に答えなさい。

問題1 課題文①はポール・ラングラン (UNESCO 教育局継続教育部長) が 1965 年 12 月の UNESCO 成人教育推進国際委員会に提出したワーキング ペーパーの一部である。これを読み、以下の問いに答えなさい。

問1 これは、どのような社会状況に対して作成されたものか、説明しなさい。

問2 下線部は、具体的にどのようなことか、述べなさい。

出典：ポール・ラングラン著、波多野完治 訳「生涯教育について」(日本ユネスコ国内委員会『社会教育の新しい方向—ユネスコの国際会議を中心として—』弘報印刷株式会社、1967 年、79-80 頁)

問題2 課題文②は、エリック・H・エリクソン(1902-1994) による「アイデンティティ」という言葉(概念)の理解について論じた文章の一部である。これを読み、以下の問いに答えなさい。

問1 ここで著者は、「アイデンティティ」をどのような言葉としてとらえることを提起しているか、その主張を簡潔にまとめなさい。

問2 著者の主張は青年期教育論にどのような示唆を与えると思うか、自分の考えを述べよ。

出典：西平直『エリクソンの人間学』東京大学出版会、1993 年、188-190 頁(注は省略)

問題3 次の1~4の語句・事項の中から2つを選び簡潔に説明しなさい。

なお、選択したものの番号を回答用紙に明記すること。

1. 学校から社会への移行
2. 「居場所」
3. 市民社会
4. 共同学習

課題文①

課題文②

令和5年度 大学院教育学院修士課程 第2次入学試験問題

高等継続教育

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 課題文①はポール・ラングラン (UNESCO 教育局継続教育部長) が 1965 年 12 月の UNESCO 成人教育推進国際委員会に提出したワーキング ペーパーの一部である。これを読み、以下の問いに答えなさい。

問1 これは、どのような社会状況に対して作成されたものか、説明しなさい。

問2 下線部は、具体的にどのようなことか、述べなさい。

出典：ポール・ラングラン著、波多野完治 訳「生涯教育について」(日本ユネスコ国内委員会『社会教育の新しい方向—ユネスコの国際会議を中心として—』弘報印刷株式会社、1967 年、79-80 頁)

問題2 課題文②を読み、これを参考にしながら、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の世界的流行が大学にもたらした影響を整理し、高等教育の課題について述べなさい。

出典：国連・子どもの権利委員会／平野裕二訳「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に関する声明」(2020 年 4 月 8 日) <https://w.atwiki.jp/childrights/pages/327.html>

(原題：The Committee on the Rights of the Child warns of the grave physical, emotional and psychological effect of the COVID-19 pandemic on children and calls on States to protect the rights of children)

問題3 次の語句のなかから二つを選んで解説しなさい。選択した問題番号を明記すること。

1. 日本学術会議
2. 高等教育の質保証
3. 大学における就職支援
4. 継続教育と高等教育

課題文①

課題文②

令和5（2023）年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

産業教育

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 社会の少子高齢化が教育に与える影響について考察しなさい。

問題2 1945年以降の日本における一連の改革について説明し、それが学校と社会との接続関係に与えた影響について具体的に述べよ。

問題3 次の事項の中から3つを選んで説明しなさい。選択した番号を解答用紙に明記すること。

- ① 地域ぐるみ闘争
- ② 「地区労」
- ③ ライン・スタッフ制
- ④ 徒弟制
- ⑤ フォードシステム

令和5（2023）年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

教育福祉論

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 社会の少子高齢化が教育に与える影響について考察しなさい。

問題2 貧困に関する研究史を概説したうえで、貧困の緩和・解決を構想するために重要であると思われる点について論述しなさい。

問題3 以下の3つのことから1つを選んで説明したのち、政策の観点から現状と課題について論述しなさい。解答の冒頭に、選んだことからの番号を記載すること。

- （1）子育て支援
- （2）障害児・者福祉
- （3）奨学金



令和5（2023）年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

教育社会学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 社会の少子高齢化が教育に与える影響について考察しなさい。

問題2 生徒文化研究の動向と課題について論じなさい。

問題3 次の語句の中から、2つを選び説明しなさい（選択したものを明記すること）

- ① 人的資本論
- ② 参与観察法
- ③ ジェンダー・コード
- ④ 軌道

発達心理学

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 教育心理学に関するフィールドワーク研究と実験室研究について、具体的な研究例を挙げながら、それぞれの研究方法について内的妥当性と外的妥当性の観点から特徴を論じなさい。ただし、研究例は、既存研究の引用でも、自身で創作したものでも良い。

問題2 以下の6つの用語から3つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) 成人形成期 (Emerging Adulthood)
- (2) 自己意識的情動 (Self-conscious emotion)
- (3) アフォーダンス (Affordance)
- (4) 発達加速現象 (Developmental Acceleration Phenomenon)
- (5) 保育における志向性の質 (Orientation quality)
- (6) RNR モデル (Risk Needs Responsibility Model)

問題3 子どもの発達や問題に関する心理学上の論争をとりあげ、それについて何が争点となっているのかを説明し、あなた自身の考えとその根拠を述べなさい。

乳幼児発達論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 教育心理学に関するフィールドワーク研究と実験室研究について、具体的な研究例を挙げながら、それぞれの研究法について内的妥当性と外的妥当性の観点から特徴を論じなさい。ただし、研究例は、既存研究の引用でも、自身で創作したものでも良い。

問題2 以下の6つの用語から3つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) 成人形成期 (Emerging Adulthood)
- (2) 自己意識的情動 (Self-conscious emotion)
- (3) アフォーダンス (Affordance)
- (4) 発達加速現象 (Developmental Acceleration Phenomenon)
- (5) 保育における志向性の質 (Orientation quality)
- (6) RNR モデル (Risk Needs Responsibility Model)

問題3 乳児保育における担当制(育児担当制)について具体的に説明した上で、発達心理学的な知見に基づいてそのメリットと配慮事項について論じなさい。

令和5（2023）年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

身体文化論

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 右の文章Aを読み、「近代国民国家に必要とされた身体の規律訓練」と題する小論を作成し、自らの考えを述べなさい。

文章A

問題2 次に示す用語から1つを選んで簡潔に説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。

1. 多文化主義
2. 武士道野球

問題3 「創られた伝統」とは何を意味するのか。エリック・ホブズボウムらが用いた概念に言及しながら、説明しなさい。

出典：坪井秀人『感覚の近代一声・身体・表象』名古屋大学出版会、2006年、311頁

令和5（2023）年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

身体運動支援システム論

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 認知機能と運動について、以下の設問に答えなさい。

- 1) 認知機能とは何か。その下位項目も含めて説明しなさい。
- 2) 運動により、認知機能はどのように変わるのか？これに関する先行研究の事例も含めつつ、その概要を説明しなさい。
- 3) 運動により認知機能が修飾されるメカニズムを、生理学的な視点に基づいて説明しなさい。

問題2 共同行為について、以下の設問に答えなさい。

- 1) 共同行為とは何か。その定義を説明しなさい。
- 2) 共同行為により、その実施者にはどのような変化が生じるか？これに関する先行研究の事例も含めつつ、その概要を説明しなさい。
- 3) 共同行為の神経基盤について、関連する脳領域も含めて説明しなさい。

以上

令和5（2023）年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

身体教育学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

- 問題1 日本におけるオリンピック・ムーブメントの変遷を概説し、  
オリンピック精神の教育的価値についてあなたの考えを述べなさい。
- 問題2 持続可能な開発目標（SDGs）の環境の項目に対してスポーツが阻害要因となる可能性について、あなたの考えを述べなさい。
- 問題3 次の1)～4)の語句・事項の中から2つ選び簡潔に説明しなさい。  
なお、選択した番号を解答用紙に明記すること。
- 1) Game Performance Assessment Instrument (GPAI)
  - 2) Teaching Personal and Social Responsibility (TPSR) model
  - 3) eSports
  - 4) Coordination Training

以上

令和5（2023）年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

体育社会学

（250点満点）

以下の問題にすべて答えなさい。

問題1 質的な研究において対象者の語りに着目する意義について、社会学の著作を一つ挙げて論じなさい。

問題2 肉体と身体の違いについて、社会的な観点から説明しなさい。その際、具体的な例を挙げて説明すること。

問題3 以下の用語・事項から2つ選んで説明しなさい。選択した用語・事項の番号を明記すること。

- (1) ルッキズム
- (2) 障害の社会モデル
- (3) 病い (Illness)
- (4) アダプテッド・フィジカル・アクティビティ
- (5) 再帰的近代

令和5（2023）年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

多元文化教育論

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

- 問題1 民族その他のマイノリティ集団を対象として、インタビューなどの手法で調査・研究を行う際の研究倫理について、あなたの考えを述べなさい。
- 問題2 多文化教室（多様な文化・言語的背景を持つ児童・生徒のいる教室）において、児童・生徒たちの多文化理解を深めるために教員がすべきことについて、あなたの考えを述べなさい。
- 問題3 現在、AI技術の進歩により、機械翻訳・通訳の実用化が急速に進んでいます。機械翻訳・通訳の高レベル化と普及は、今後の社会にどのような変化をもたらすと考えられますか。特に学習や教育の面および、文化・言語の異なる社会間の関係の面から論じなさい。